

篠崎将 里山ある記

中原小学校ビオトープ

千葉県では、身近な自然を守り育てることを目的として、ビオトープ作りを進めてきました。その趣旨は「生物多様性千葉県戦略」に引き継がれ、「生物多様性体験学習推進事業」として、学校ビオトープづくりに反映されました。学校ビオトープは、里山の要素を再現したミニ里山タイプが多く、小さな池や水路、田んぼや畑、草地を含むのが特徴で、中原小学校のビオトープもこのタイプです。事前に学校周辺の植物、生きものを春夏秋冬にわたって、教師、児童、保護者で調査し、観察された動植物が生息できる空間を目指して、2010年に作られました。特に、児童から要望の強かったトンボの生息環境を重視しました。池や水路を流れる水は、雨水をためて循環させています。

2014年に観察された生きものは、トンボ類では大型のオニヤンマ、クロスジギンヤンマのほか、ウスバキトンボ、オオシオカラトンボ、コシアキトンボ、アオモンイトトンボなど。早朝には羽化するところも観察できます。蝶類では、保護種であるコムラサキをはじめ温暖化で北上してきたツマグロヒョウモンも観察されました。その他の昆虫では、コガネムシ類、バッタ類、セミ類など17種。鳥類では、モズ、ツグミ、コゲラ、ハクセキレイなど7種を数えます。水中生物では、保護種であるメダカ、モツゴ、スジエビのほか、ドジョウも生息しています。湿地性の保護種である、ガシャモク、アサザ、デンジソウ、ミクリをはじめ、イグサ、フトイ、サンカクイ、マコモなども生育しています。樹木では、湿地性の高木であるハンノキをはじめ、鳥類のえさとなる、実のなるマユミ、ウメドoki、ムラサキシキブ、ナンテン、アオキなどがあるため、冬季も鳥を観察できます。

このビオトープは、教師、児童、保護者からなるビオトープ委員会によって管理、運営されています。観察を希望する方は中原小学校の受け付けで、許可を得てお入りください。



シオカラトンボの羽化

女性が初参加、華やかに開催

平成27年1月25日、増尾近隣センターで文化体育部主催による新春囲碁将棋大会を開催しました。囲碁は女性3名が初参加し28名が参戦、将棋は小学生4名を含む16名が勝負に臨みました。表彰者は下記の方々です。

- <将棋の部>
優勝者 戸城裕紀 2位 赤津幸次郎 3位 多加谷潔
 - <囲碁Aの部>
優勝者 中島忠男 2位 斎藤保 3位 鹿毛剛
 - <囲碁Bの部>
優勝者 山川進 2位 蔦野俊之 3位 八島朝一
- 文化体育部 小林 みつえ

522名の子どもが参加

多世代交流を図るために、さまざまな活動を行ってきた平成26年度ふる協行事に、522名の子どもが参加しました。行事に参加すると一つスタンプを押すポイントカードを発行、三つスタンプが貯まると賞品を差し上げます。来年度も実施する予定ですので、どんどん参加してポイントを集めてください。また、どのような行事に参加したいか、声を聞かせてください。

総務広報部

きれいで便利に

近隣センター改修工事終わる

増尾近隣センターの改修工事が平成27年3月で終了しました。ご不便をおかけしましたが、自動ドアや洋式トイレの整備により、快適にご利用いただけるようになりました。

ふる協からのお知らせ

平成27年度総会を下記の通り開催します。なお、出席者には、追って詳細をお届けします。

日時 平成27年5月10日(日) 午後1時30分より
場所 増尾近隣センター体育室

ボランティア募集中

障がい者福祉施設で、毎月第2または第4金曜日、午前9時30分から12時まで、簡単な作業(園芸、手芸他)のお手伝いをしてくださる方を募集中。
地区社協部 吉川(TEL 7176-3631)まで、お問い合わせください。



吉田 稔 筆

みんな元気 住んで良かった この地域

平成27年 4月 No.113

●編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211
http://masuo80@live.jp

集合場所を分散しパトロール強化

新柏駅から逆井駅近くまで、長く広がった地域を十分な巡回をするために、初めての試みとして集合場所を増尾駅、新柏駅、増尾近隣センター前と、3か所に分散して年末夜間防犯パトロールを実施しました。

実施日の平成26年12月28日には、柏市防災安全課から青色パトロールカーが1台ずつそれぞれの集合場所に出動、昨年より20名多い124名が参加しました。

最近、黄色地に「防犯パトロール実施中」と書かれた旗を目にした方もいると思います。これは、空き巣や痴漢被害などが急増する年末年始に向けて、犯罪防止につながればと、防犯協会増尾支部とふるさと協議会が共同で130本を作りました。各町・自治会の防犯活動の一助になれば幸いです。

防犯防災部 間宮 節子



新柏駅前に集まるパトロールの皆さん



私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです。

増尾町会

増尾町会は、増尾駅の東側と南側の広大な地域に位置して、増尾地域ふるさと協議会の範囲のおおよそ半分を占め、会員数は現在約2300世帯です。

地域には、廣幡八幡宮や増尾城址公園など歴史を有する所が数多くあり、このような土地柄から、伝統と慣習を維持しながら、新しい住宅地の住民との融和に努めています。伝統的行事として廣幡八幡宮の催事への参画、また32年間続いている芸能発表大会と納涼盆踊り大会があります。これらは増尾消防団や町会婦人部、子供会、老人会「増尾ダイヤモンドクラブ」などの協力を得て実施しています。平

成22年には町会員の力で『増尾音頭』の作詞作曲振付を自主制作しました。当町会のみならず、近隣町会でも踊り親しまれてきており、さらに、土小学校の運動会でも婦人部やダイヤモンドクラブが率先して踊り、生徒や保護者の方にも覚えていただきました。また、平成24年には、シンボルの町会旗を作製、自主防災活動などにも利用、士気の高揚に役立てています。広範囲な地域での行き届いた町会員へのサービスが課題であり、それに応えられる施策を進めています。

会長 幸喜 源松



増尾の魅力を見直し



昔懐かしい、伊藤家の囲炉裏

上気候に恵まれた平成26年11月30日、文化体育部主催の「ちいき探検ウォーキング」が増尾探検隊の協力で開催され、老若男女70名が参加しました。少林寺では五輪塔や江口章子（あやこ）の歌碑を巡り、香取神社では多数の庚申塚を見学しました。次はこんな所にお宝がと思えるような長屋門へ。普段は立ち入れない場所ですが、今回は地主さんの許可を得て、特別に見学が出来ました。増尾城址で、すばらしい紅葉を眺めながら休憩。幼いお子さんはすっかり仲良しになった探検隊のみなさんと手をつなぎ、元気に先頭を歩きます。ほどなく萬福寺に着きました。境内の阿弥陀堂には、千葉県指定文化財の阿弥陀如来坐像が安置されています。

「きつね山」は「柏ふる里づくり隊」のみなさんの説明を聞きながら回りました。幸谷城館跡や炭焼き小屋を巡り、伊藤家母屋に一步踏み入ると囲炉裏があり、そこには懐かしい昭和の匂いが。広場では当主の伊藤さんから焼き芋のおもてなしがありました。温かい接待に感謝感激しつつ、ホカホカの焼き芋をパクつきました。

文化体育部 中 康友

園芸講座 始まる

「ペレニアルガーデンを作ろう」

昨年9月に東大で研究用に使用した花を、約30種類譲渡される機会がありました。せっかくだからきれいに育てて皆さんに見てもらおう、どうせなら育て方の講座も開いて希望する人に勉強してもらおうと考えました。柏市のカシニワ登録をし、ガーデニングができる準備を整えて、1月より園芸講座を開催しました。

募集期間が短いにもかかわらず32名の応募があり、1月27日から4月25日まで全7回の講座を設けました。

専任講師はNHK『趣味の園芸』でもおなじみの山口まり先生にお願いしました。増尾近隣センターに来た方に、花壇を楽しんでいただけるように、増尾近隣センターの花壇を実習の場所にして、作り方や育て方を楽しく学んでいます。

ペレニアルガーデンとは、多年生植物中心で作る庭のことだそうです。毎年植える必要がないというメリットがありますが、1年草に比べて個々の開花期間が短いため、開花時期が少しずつずれていくように計画を立てる等の工夫が必要です。今回受講された方にはこの花壇の維持にご協力をいただき、ご自身の園芸ライフもいっそう楽しく充実したものになればと思います。増尾近隣センター、カシニワの完成をお楽しみに。

環境部 小林 和英



花壇の草取りから

地球温暖化は身近な問題 環境フェア2014パネル展

平成26年12月6日から13日まで増尾近隣センターのロビーにて、「環境フェア2014パネル展」を開催。地球温暖化問題、生物多様性、緑のカーテン、ごみ減量のパネル展示と環境クイズアンケートを実施しました。

地球温暖化問題というと、テーマが大き過ぎて身近に感じないかもしれませんが、夏場に気温30度以上の日が続くのも、春と秋の季節が短くなったと感じるのも、冬に今までにない大雪が降るのも、温暖化が影響しています。今からでは遅いと思わずに、家庭で節電やごみの減量を考えていただきたいと思います。

また、柏市消費生活センター、消費生活コーディネーターの協力で、振込め詐欺、インターネットトラブルなどに関するパネル展示も行いました。

平成27年度事業でも、昨年度同様にゴーヤ苗の配布を考えています。地域の方とのコミュニケーションを図るためのよい機会と考え、支給が決まった方には、今までの取りに来てもらう方式でなく、各家庭に配達する予定です。

環境部 小林 和英

個性ある出演者が勢ぞろい

平成27年3月1日、増尾近隣センター体育室で芸能発表大会を開催しました。40組の方が出場。出演者と一緒に歌い、声を張り上げ声援を送るなど、出演者と会場が一体となりました。



よさこいの若きメンバーにインタビュー



出演者の声に合わせて歌います



仲間の出場に熱きエールを



近隣センターで練習を重ね、初めての披露です



心に染み入る歌声でデザインメドレーを

柏ふるさと協議会連合会 第1回「フェスタ2015」開催

「大好き柏！ふる協と共に35年」をテーマに平成27年2月28日、中央公民館にて「フェスタ2015」が開かれました。昭和54年以降各地域に「ふるさと協議会」が設立され、今年で35周年を迎え、これを記念して20のふる協、総勢195名が一堂に会しました。

柏市ふるさと賞を、当ふる協から個人で大山忠幹さん、団体で環境部が受けました。各ふる協代表による基調活動報告の中で、増尾ふる協幸喜源松会長は、多世代交流コミュニティー作り、学校避難所運営の取り組み、文化体育環境面での多彩な事業展開について、また会員の地域活動への参加意欲向上には、タイムリーな情報発信が欠かせないことなどを紹介しました。午後は「自然環境」「地域見守り運動」「多世代交流」と、三つの分科会に分れて議論を交わし、未来の柏を考える場となりました。パネル展では、各ふる協の活動が紹介され“地域を知りふる協を知る”貴重な一日でした。

総務広報部 蓼沼 芳保

ブーメランが飛んだ！

平成26年12月7日増尾近隣センター体育室で、地区社協部主催の第2回「つくってあそぼ」を開催。近隣の六つの小学校から56名の子どもたちが参加しました。

今回は、ブーメランとデコ巻きずしに挑戦しました。ケント紙にマジックで絵を描いたり色を塗ったり、オリジナルのマイブーメランを作り、体育室で所狭しと飛ばしました。デコ巻きずしとは、飾りずし、まつりずしともいわれる房総の郷土料理です。今回は、「リラックマ」と花模様の巻きずしを作って食べました。



青少年相談員 柳田 薫子

表情いろいろ「リラックマ」